

第4回けんせつ小町活躍推進表彰 受賞



活動名 (30字以内) ※表彰時の名称	熊谷組 × 大妻女子大学 女子大生が考えた仮囲いを実現	応募者情報	優秀賞		
			会社名	(株)熊谷組	
			部署/担当者	人事総務部 ダイバーシティ推進G	
活動分類	4.その他(横断的グループなど)		けんせつ小町工事チーム登録		
主なPRポイント (100字以内)	女子大生の感性で作上げた仮囲いデザインが実際の現場仮囲いで実現。作業所全体の士気高揚にも効果を生み、地域の皆様をはじめ、多くの世代の方に向けて建設業の魅力発信ができた。				
活動のきっかけ (背景、ねらい)	<p>◆大妻女子大学のキャリア教育授業に参加(①) 熊谷組は大妻女子大学のCDP(キャリア・開発プログラム)授業に参加。幅広い企業が参加しているが、建設業の参加は熊谷組が初めて。 熊谷組から学生へ向けて出した課題は「街を行きかう人が幸せな気持ちになれる工事現場の仮囲いデザインの考案」。若者や女性にもっと建設業に興味を持ってもらうため、トレンドに敏感で情報発信力に優れたイマドキの女子学生の感性でデザインした仮囲いから新たな建設業の魅力を発信する。建設業の3K(きつい、汚い、危険)のイメージを仮囲いから変え、建物が出ていくことに対してのワクワク感をより多くの人に共感してもらうことを狙いとしました。</p>		写真・図表等 (ビジュアル的なPR)		
活動の内容 (具体例、効果)	<p>◆女子大生が仮囲いのデザインを考案(②) 半年間のCDP講義を実施するため、熊谷組では人事総務部沼口課長を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、始動。講義では建設業の課題説明や、現場見学会を実施するなどまずは女子学生達に建設業を深く知ってもらうための授業を行った。その後学生達30人は5チームに分かれ、週2時間・計15回の授業でデザイン案の企画からプレゼンまでを行い、最優秀賞を選出。</p> <p>◆デザイン案を作業現場が採用(③~⑦) 企画案をマンション作業所が検討を重ね実現させた。ディスプレイは女子大生がデザインした四季のイメージを映像で採用、デジタルサイネージとした。親子でのぞける熊の形ののぞき窓はワクワク感の創出に繋がっている。どんな現場でも実現可能な仮囲いにするため、コストを抑える様々な工夫が施されている。壁面緑化は100円ショップを利用して手作りで作成。また、近隣住民の女性は壁面緑化の世話を援助して下さっており、職人さんも一緒になって季節を表現する仮囲いの制作を楽しんでいる。</p> <p>◆「未来の小町?×リアル小町×現場」の効果 女子学生のデザインした仮囲いにより、街ゆく人が写真を撮ったり、のぞいてみたりと興味を示してくれ、建設業の魅力発信に繋がっている。また、今後は他6現場で親子でのぞける熊の形ののぞき窓を採用予定。全社的に良い影響を与えることができた。 「まずやってみる!」という作業所目標に基づき実現できたコラボ仮囲い。この取り組みによって職場全体が明るくなり、新しいことにチャレンジしていこうという前向きな気持ちも生まれ、更に近隣住民や街ゆく人からも愛される作業所になっている。</p>				